

# 神戸市市民福祉調査委員会 介護保険専門分科会

## 2025年度 第1回企画・調査部会

日時：2025年10月15日（水）18：30～20：00

場所：中央区文化センター 11階会議室 1111

出席者：大和委員、澤田委員、久次米委員、松下委員、榎本委員

- I 開会
- II 定足数の確認
- III 副局長あいさつ
- IV 議題

### 【審議事項】

#### 第10期介護保険事業計画策定に係る実態調査の調査項目について

##### 1. 高齢者一般調査

###### ○委員

認知症に関しては、MCI、軽度認知障がい注目されている。例えば、「MCIという言葉をご存知でしょうか。」という設問をいれることはできないか。また、問9（12）で、住み慣れた地域で必要だと思うものをお聞きし、1から7の選択肢を挙げているが、例えば、8番として、「医療の充実」を挙げることは可能か。

今後、MCIという言葉の理解を高めることは必要になってくるとし、医療の内容も大きく進歩すると考えられるので、医療に関する設問を入れていただきたい。

###### ○事務局

追加の方向で検討する。

###### ○委員

問1「あなたのご家族や生活状況」で追加されている、(7)「64歳以下の同居する家

族がいらっしゃいますか。」、(8)「その家族がどのような状況でいらっしゃいますか。」という設問は、8050問題を意図されて聞いているのか。

#### ○事務局

問1(7)から(9)はご指摘の通り、8050問題を意識したもの。なお、問4(26)から(29)については、高齢者の社会的孤立や孤独感への関心が高まっているということで、「孤独」という主観的な感情をよりの確に把握するための直接的な設問と、設問に「孤独」という言葉を使用せずに、孤独感の有無を把握するような間接設問として追加したもの。

#### ○委員

問4(29)は、「あなたはどの程度孤独であると感じることがありますか。」という設問だが、選択肢が(28)とほとんど同じで、「どの程度」と聞いているが、違いがなく、選択肢としてふさわしくないように思う。

(27)(28)(29)で孤独について聞いているが、聞き方を3つのパターンに変えているわりには、選択肢がわかりにくい。程度を聞いているが、それに見合った選択肢が用意されていないように思う。

孤立と孤独の違いを、一般の方がどれぐらい意識されているかは、なかなか難しいところだと思う。研究者だと、孤立と孤独は違うということで、主観的なものと客観的なものに分けたりするが、一般的には違いが意識されていない場合が多い。

#### ○事務局

いただいたご指摘を踏まえ、所管課と調整する。

#### ○委員

問9の認知症に関する設問の(13)に「成年後見制度を知っていますか。」という設問があるが、よく言われることは、「知っていても、どこに相談したらよいのかわからない。」ということ。問2に「認知症に関する相談窓口を知っていますか。」という設問

があるので、成年後見制度に関しても、「どこに相談すればよいのか知っていますか。」という設問を入れ、同じような形にできるとよい。

○事務局

追加の方向で検討する。

○委員

これは、神戸市の65歳以上の方で、介護保険の申請をしていない方に送るということか。個別に何らかの方法で紐付けするのか。

○事務局

高齢者一般調査の対象者は要介護1から5の認定を受けていない65歳以上高齢者で、対象としては介護予防日常生活支援総合事業対象者と要支援1・2の認定を受けている方も含まれる。

個人を判別できるような紐付けはしない。

○委員

問10の人生会議に関する設問で、(5)に、「ご本人が望む医療やケアについて話し合うことを人生会議といいます。」と人生会議の説明を入れているが、ご家族だけでこのようなことを話し合っている場合もあると思う。実際に医療関係者やケアチームの方も交えて話をするのがACPであるということを書いておくのか、ご家族の中だけで話し合っているものもそこに含む認識にするのか、回答者の程度によって内容が違ってくるが、問題ないのか。

○事務局

人生会議ACPの説明としては、厚生労働省がガイドラインで示している通りのことをイメージしている。「ご本人の意向を中心として、家族と医療ケア従事者と一緒に話し合うこと」と定義して考えている。ご家族だけで本人を抜いて話し合うということは想定の中には入っていない。元々ご本人と話し合ったことを基に、ご本人の意向を想像

しながら、ご家族と医療者で話し合うという場面はあるかと思うが、「ご本人の意向を中心に」というところを強調したいと考えている。

ご指摘のような状況は十分にあり得ると思うので、表現は検討する。

#### ○委員

神戸市としては、紐づけしないということだったが、戻ってきた資料の中で、どのようにして、その方が自立なのか、総合事業対象の方なのか、要支援の方なのかを確認するのか。

#### ○事務局

これらを分類するには、調査項目の中に設問を入れ、回答していただく必要がある。この部分は整理し、検討する。

## 2. 在宅高齢者実態調査

#### ○事務局

問1「あなた自身のことについておうかがいします。」については、国の調査項目に合わせるということで、身長、体重を聞いていない。これについて、意見をいただきたい。

#### ○委員

例えば、フレイル等を含めて、虚弱の部分を見るために、BMIの基礎となる身長、体重は非常に重要な項目だと思う。痩せすぎや太りすぎを知るためには、身長、体重を聞いておいたほうが、今後の資料として参考になるのではないか。身長、体重についての設問は削除しないほうがよいと思う。

#### ○事務局

事務局としても引き続き聞くべきだと考えているので、今回も身長、体重を設問項目に入れることとする。

○委員

問 16 について、新規で認知症のイメージについての設問が加えられているが、回答は複数選択か。

○事務局

この項目は、国の調査を参考にして入れたものなので、国の調査と回答方法を合わせる。

○委員

2 番の問 16 に、ケアマネジャーという選択肢を新たに入れたということだが、例えば、認知症のことについてお聞きするにも、ケアマネジャーの訪問回数に比べると日常的に利用頻度の高いヘルパーやデイサービスの職員に聞くこともあり得ると思う。ケアマネジャーを特別に挙げるのであれば、社会福祉士と同じように、介護関係者、介護保険事業者というような項目も別立てしてもよいかと思う。

○事務局

選択肢を 1 つ追加する方向で検討する。

○委員

対象者について、高齢者一般調査と在宅高齢者調査ともに要支援 1、2 の方は対象となっているが、調査が重複するということはあるのか。

○事務局

高齢者一般調査と在宅高齢者調査は、要支援 1、2 の両方が対象になるが、重複がないような形で抽出する。

○部会長

本日、ご指摘、ご議論いただいたものを踏まえ、修正をする。修正後、11 月 5 日の介護保険専門分科会上に上程するというのでよろしいか。

また、修正に関しては部会長にご一任いただくということで、よろしいか。

(委員承認)

○部会長

では、以上で2025年度第1回介護保険専門分科会企画調査部会を終了する。

VI 閉会